

▼入学希望書の受付と開校までのスケジュール

2013年

10月より地域懇談会は随時開催…入学希望書については、随時受付しております。正式な入学願書は法人認可後(2013年12月下旬)の受付になります。

11月9日(土)、11月24日(日)…学校見学会&説明会
清内路子どもの森小学校(旧清内路中学校)校舎の見学と説明会を12時30分よりいたします。

特にお申込みなどは必要ありません。現地に直接おいで下さい。

12月～翌年1月…入学願書受付、順次面接後に決定通知発送。

2014年

3月1日(土)…入学確定者のプレスクール開催と保護者会

10:30 清内路子どもの森小学校集合

14:30 終了予定

4月13日(日)…開校式・入学式

10:30 清内路子どもの森小学校集合

14:30 終了予定

入学希望者の受付について、今年度の正式な入学願書の受付は学校法人認可後となります。2013年12月頃の予定です。それ以前は入学希望書をご提出頂き入学予定者として受付をさせていただきます。現在は開校準備中であり学校法人認可申請中ですので正式な入学手続きは法人認可以前には行う事は認められておりませんので、ご理解の程お願い申し上げます。



▼問い合わせ&入学希望書送付先

学校法人 自然学園 (申請中)
清内路子どもの森小学校 開校準備室
〒381-0074 長野県長野市中曽根2124-161
ネイチャーセンター内
TEL. 026-239-3301 FAX. 026-239-1124
Email : kouichiuchida5@gmail.com

▼現地開校準備室

清内路子どもの森小学校 校舎内 (旧清内路中学校)
〒395-0401 長野県下伊那郡阿智村清内路762-1 TEL. 0265-48-6612
▼現地開校準備室へのアクセス
中央自動車道「飯田山本インター」から国道256号線で昼神温泉方面へ→昼神温泉より清内路・南木曽方面へ約5km→国道256号線左手側に校舎



▼自然学園では学校サポーターを募集しております

21世紀を生きる子どもたちのために、環境教育を学校教育の中で行うための支援を、多くの方々にご協力いただければと願っております。環境学習活動のためにボランティアで専門知識を提供していただける方、学習のための教材や書籍を提供して頂ける方、支援寄付(毎年1口5,000円)をして頂ける方、その他、学校サポーターとしてご提案やアイデアをいただける方を広く募集しております。ぜひご支援をお願いいたします。学校サポーターになって頂いた方には、自然学園清内路子どもの森小学校の活動をまとめたニュースレターが子ども達から送られます。更に学校行事などへの招待状が送られます。

学校サポーターにお申込みいただける方は支援寄付5,000円をお願いいたします。毎年継続して学校サポーターとしてご支援いただければ幸いです。継続については任意です。現在2014年度分の学校サポーターの登録受付中です。

恐れ入りますが下記郵便振替口座へご寄付(1口5,000円、口数は任意です)をお願いいたします。

郵便振替口座：00540-6-97755
名義：子ども支援プロジェクト

どちらの郵便局からでも送金できます。振替手数料は恐れ入りますがご負担ください。学校サポーターについてのお問い合わせは、清内路子どもの森小学校開校準備室までお気軽にどうぞ。



アクセス

▼名古屋方面から車の場合
中央自動車道「**園原インター**」から89号線→昼神温泉方面256号線→清内路南木曽方面→清内路郵便局
清内路小学校経て→256号線左手に学校施設あり
(園原インターから20分)

▼岡谷飯田方面から車の場合
中央自動車道「**飯田山本インター**」から153号線→昼神温泉方面256号線→清内路南木曽方面→清内路郵便局
清内路小学校経て→256号線左手に学校施設あり
(飯田山本インターから20分)



あなたは自分の子どもを
どんな学校に通わせたいですか？

保護者も子どもも学校作りに参加して
自分たちの求める学校を作りませんか？
南信州阿智村清内路で
そんな学校づくりが始まっています。



きれいな水と清涼な空気
そして大いなる恵み 自然と共にある暮らしの中で
環境やエネルギーのこと 人や地域とのつながりのこと
持続可能なこれからをつくること 未来をたくましく生きること
自分らしく愛し愛される人として、仲間と学ぶそんな学校がこころにある

学校法人 自然学園(申請中)
清内路子どもの森 小学校

学校法人 自然学園 清内路子ども森小学校

環境教育がこの学校の軸になる教育活動です。21世紀の持続可能な社会を作り上げる基礎は幼い時代からの環境意識の育成によると考えています。本学園は児童期から環境教育を学校教育の中に盛り込み、環境意識を醸成すると共に持続可能な社会を目指した環境教育実践を行う学校です。南信州の自然環境の中で感性豊かな児童が育っていくことでしょう。

小学校時代を長野県南信州の大きな自然の中で過ごしてみませんか。「清内路子どもの森小学校」は2014年4月に開校を予定する私立小学校です。

豊かな自然に囲まれ、温かな地域の人たちに支えられ、子ども達に全力で関わる先生たち、そして素晴らしい校舎、理想的な学習環境がそこにはあります。

これまで私は30年以上に渡り、幼児期から学童期そして青年期の若者など、様々な年齢の子どもを対象に、自然の中で活動する機会を提供してきました。また一個人の成長の様子を10年、20年の月日を通じて関わり見る機会も、多く持つことが出来ました。そこでは人の成長がどのようなものであり、人が成長し自己を確立する上で何が必要なかの多くのヒントを得ることが出来ました。自然とのつながりや人とのつながりを背景とした様々な体験が子どもたちを成長させる大きな糧になることは間違いありません。そして更に子どもたちが自分らしく安心していられる環境を作つくるために働く、大人の存在が不可欠であることも分かっています。学校の中にこの二つの要素を盛り込み日々の生活を子ども達が送ることが出来たら、学校はより確かな学びと成長の機会を与えてくれる場になると考えています。

今回新しく作る学校は具体的な教育内容とは別の観点として、子ども達の真の成長を保証するために「子ども主体」「公正と平等」「開かれた議論」の確かな礎石の上に築かれる学校です。子ども達が自らの社会の主人公として己を認め、他者を認め、責任と自由を謳歌することが出来る学校です。



本校の校舎は、阿智村と地元清内路地区のご理解を頂き使用させていただいている校舎です。元は長野県下伊那郡清内路村立「清内路中学校」として平成11年に建設され、その後平成21年清内路村と阿智村との合併のため空き校舎となりました。校舎は旧清内路村の地域の子どもの育成を目的に細部に渡り吟味され理想的に作られた建物です。この校舎に足を一歩踏み入れれば、この校舎にどれだけの想いが凝縮されているかを感じずにはいられません。

この校舎に再び子ども達の姿が見られるようになることを一番に喜んでくださったのは、清内路地区の地域の方々です。学校法人自然学園「清内路子どもの森小学校」として新たな学校がここに誕生することを地域を上げ応援していただけることに心から感謝すると共にこの素晴らしい校舎を十二分に活かした学校を作る責任を強く感じております。理想の学び舎を与えられたことに誠意を持って応えられる理想の学校づくりを進めていく所存です。

学校法人 自然学園設立代表 内田 幸一



人類は地球に生きる上で環境問題や国際社会が抱える様々な問題を避けて通るわけには行きません。教育の中でも重要な視点として、子ども達に環境問題や国際社会に向き合う機会を与え、誰にとっても関りあることとしての意識を育て、学習する時代をわかえています。

自然学園は自らが実践者となり、体験を通じた環境学習の場を子ども達と共に作り上げていきます。太陽光や水力、風力、木質系燃料などを軸に、学校内で使われる電力や暖房などのエネルギーを出来るだけ自給します。学校設備自体が二酸化炭素の排出を極力抑えたエネルギー節約型の施設となるようにします。

学校内のエネルギー消費量の削減のための行動計画や意識啓発の活動を子ども達にない、家庭や地域へ環境活動の情報を提供します。生活に関わる身の回りの商品、食品などの包装材料や容器が石油を原材料とした合成樹脂が使われています。自然には中々帰らない石油製品のリサイクルや最終処分について学習し、石油製品からの転換やリユース社会の未来像を描きながら廃棄物を作り出さない学校生活を実践します。



スクールガーデン、スクール農場活動を通じて近隣の農業者と連携し、学校自家生産の野菜や契約栽培によるお米・くだものなどを自校給食の中で使用し、地域農業と結びついた食育活動を展開します。家庭との連携で生徒と保護者はスクールガーデン、スクール農場の中で様々な農業体験を行うと共に生産作物は各家庭においても消費されます。自然学園は学校生活の様々なところで保護者が関わります。環境負荷の小さな社会を目指すために、その実践活動をする児童と共同した活動を行います。各家庭においても持続可能な、環境負荷の小さな社会を作るための地域社会への働きかけ役を担っていただきます。

社会に目を向け地域と連携した環境学習と実践活動は、子ども自身が直接的な社会貢献として主体的に動くことができる活動です。社会の重要課題となる分野に関わり、直接大人や地域と繋がるだけに、真剣に取組むべき活動であると子ども達はすぐに理解するでしょう。子ども達が他人の問題とせず自ら解決の道をたどろうとする真剣な行動の現れは、周囲の大人達の意識も大きく動かすことでしょう。環境学習を学校教育活動の礎に置くことは、各教科の学習の必要性と意味の深さを理解することにも繋がります。諸問題解決のための正しい知識の習得が、まず必要であることを子ども達は十分認識することでしょう。環境学習は、子ども達が本来持つ好奇心や探究心を発揮させ豊かな知識の世界を自ら歩む子ども達を育てると同時に、生態系や地球環境を理解し環境問題や国際社会への強い感性を育てる学習であると確信しています。



▼教育目標

清内路子どもの森小学校の教育目標として、人の生活に関わる様々な技術・知恵・習慣・文化を体験を通じて学び、人間は今日の生活や社会をどのように築いてきたのか正しくとらえさせたいと考えています。そのためには児童期から豊かな自然環境の中で生活することも大切でしょうし、人類の英知、幾世代もが育んだ知恵、そして創造性に満ちた人の歩みや歴史を子ども達に伝えなければなりません。素朴な体験から先端的な情報まで、今日の子ども達をとりまく事柄をその年齢に合った学習活動に結びつけ、小学校教育の目標の達成を目指したいと考えています。

1～2年生の低学年期においては、子ども達の素朴な発想や、自然発生的な子どもの関係を育てることを軸に、体験活動や遊びの要素を充分に取り入れた活動を行います。他者とのコミュニケーション力が育つ様、自分の意思を伝えると同時に相手の気持ちを理解し、言語表現による人間関係づくりやそれに伴う行動が出来ることなど目指したいと考えています。3年生以上の中学年から高学年期にかけては、集団やグループが活動の目標を達成するために機能することをつかみとってもらいたいと考えています。集団やグループを構成するメンバーが協調し協力し合う中から信頼関係や個としての責任が生まれ、集団を支えるための役割の重要性などを認識した実際の行動がとれるよう目指します。学習活動を進める上でも、グループ研究や共同的な調査活動を通して他者と連携した学習のスタイルが知識の幅や見解の深まり、情報の収集整理を効率よく行えることを学ばせたいと思います。知識や情報を共有する仲間が目標を達成するためのグループを構成し、グループがダイナミックに機能した際に大きな力を発揮することを実体験として持たせたいと考えています。

そして更に小学校の年齢期においても、無限に広がる情報ネットワークの中で翻弄されることのない洞察力やワールドワイドな語学力の基礎となるよう外国語学習(英語学習の導入のための授業)およびメディアリテラシーに関する授業を盛り込みます。

▼県外から寄宿希望児への寮施設のご案内

寮施設所在地…長野県下伊那郡阿智村清内路2991
「ふるさと村自然園 森の家」
寄宿棟 1階…食堂、厨房、管理人室、事務室、男女別トイレ
2階…寄宿室(20畳)4室、寄宿室(10畳)2室、男女別トイレ、男女別浴室、洗面所
その他屋外施設…野球グラウンド、テニスコート、キャンプ場など
野外活動施設

※寮と学校は送迎車で5分の距離です。寮のある「ふるさと村自然園」は、野外活動などの学校行事で頻繁に使われる施設でもあります。



▼寮費(寮費には消費税が加算されます)

納入金	金額	備考
寮費	年額 504,000円	10ヶ月徴収 (夏冬春休みの約2ヶ月分は徴収しない) 12月均等払い月額42,000円 寮費には学校までの送迎費が含まれます
未帰宅	3,000円/1日	休日に未帰宅の場合の1日あたりの寮費

▼寮費に含まれるもの

寮施設使用料、食費(学校給食費は含みません)、シーツ洗濯代、寝具使用費、冬期暖房費

寮の運営は「ふるさと村自然園」の指定管理者である飯綱高原ネイチャーセンターが行います。学校法人自然学園と連携して児童の生活指導、健康維持、病気やケガ等の対応を行います。寮には寮生活を快適に行える様専門職員を配置、寮生活での衣食住の全てにわたるサポートを行います。

寮での生活も子ども達が成長する大切な時間です。学校での授業時間枠を越えた様々な活動を行うことが出来ます。スポーツや音楽、芸術の分野その他趣味の世界まで子ども達の提案に応じた活動を作りたいと考えています。そして寮の中でも補習や興味ある科目を深めるサポートを行います。

▼学校法人自然学園「清内路子どもの森小学校」の概要

本学園の学校所在地 長野県下伊那郡阿智村清内路762-1
児童生徒の定員 小学校/各学年1学級…20名 全学児童定員…120名
中学校/後に中学校を設ける予定
※小中学校の一貫教育を目指します。

学校施設 校舎棟 1階:職員室、保健室、理科室、家庭科室、多目的ホール
2階:普通教室、音楽室、図書室
体育館棟 1階:駐車場
(4階建) 2階:屋内プール、トレーニングルーム他
3階:アリーナ、ステージ
4階:ギャラリー
屋外運動場:1790㎡



▼教職員体制

各学年担任教諭…6名(開校時はクラス数に合わせた教諭数)
校長(学園長)……1名 教頭(副校長)…1名
養護教諭……………1名 事務職員…………2名
その他…講師、学校サポーター(地域の学校活動支援者)など
学校医、学校歯科医

▼寮職員体制

生活指導……………数名(児童数に合わせた人数)
給食職員……………数名(児童数に合わせた人数)
病気等の対応…阿智村内、飯田市内の医療機関と連携

▼学費他納入金

納入金	金額(円)	備考
入学審査料	一時金 10,000	入学志願者面接審査料
入学金	一時金 180,000	入学一時金
授業料	月額 30,000	年額 360,000円
給食費	月額 6,000	年額 72,000円
送迎費	月額 4,000	飯田市～学校の送迎費
旅行積立金	月額 3,000	寮～学校の送迎費は寮費に含む 学習のための旅行積立
月額合計額	月額 43,000	通学児童
	39,000	寮利用児童

▼自宅からの通学児

飯田市内からの通学用送迎バスを運行します。飯田市内の乗降場所までは各自でお出ください。(乗降場所については検討中)送迎バスによる登校・下校になりますので全ての学年において登校・下校時間は同じになります。

▼寮生活児

寮のある「ふるさと村自然園」からの通学用送迎バスを運行します。送迎バスによる登校下校になりますので、全ての学年において登校・下校時間は同じになります。寮には概ね4時30分の帰寮になります。

寮は原則平日の月曜日から金曜日朝までの利用となります。金曜日の学校終了後に名古屋方面への帰宅のための送りバスが学校よりスタートします。月曜日の早朝名古屋方面より登校用に迎えバスを運行いたします。